



関西大学  
関西大学教育後援会  
関西大学校友会

# 岡山の自然災害を考える

特別講演

開催日時 2018年

9月15日(土) 15:30~  
終了 17:30(予定)

会場 岡山コンベンションセンター (於:コンベンションホール西)

聴講無料  
先着順 事前申込制

教育後援会宛 電子メール  
(koenkai@ml.kandai.jp)にて受付。  
件名に【特別講演】と記入し、本文に申込者氏名と連絡先電話番号をご記入のうえ送信してください。  
【お問い合わせ】 TEL.06-6368-0056



同時開催  
申込不要・無料

入試個別  
相談会

12:50~15:00

入試個別相談会は、一般の方なら  
びに受験生の方のご相談も大いに  
歓迎いたします。  
なおご希望の方には、**関西大学を  
紹介する冊子**を謹呈いたします。

©岡山県提供



学長挨拶  
芝井 敬司 関西大学 学長

1978年京都大学文学部史学科(西洋史)卒業。  
京都大学助手を経て1984年関西大学に着任し、2016年10月からは第42代学長を務める。数量歴史学の歴史研究方法に関心を寄せ、いち早くその動向をわが国に紹介して注目された。また、モンテスキューやエドワード・ギボンに関する研究業績も多数。



司会  
安部 誠治 関西大学 社会安全学部長  
大阪市立大学助教授を経て1993年に関西大学商学部へ着任。その後、社会安全学部設置に伴って同学部に移籍し、現在は学部長。公益事業学会会長、政府原発事故調・技術顧問などを歴任し、現在、事業用自動車事故調査委員会委員などを務めている。



最近の水害から岡山の  
洪水対策を考える

高橋 智幸 関西大学 社会安全学部教授

**概要** 40人を超える死者・行方不明者を出した平成29年7月九州北部豪雨や鬼怒川が決壊した平成27年9月関東・東北豪雨など、各地で水害が多発している。そこで、最新の洪水被害のメカニズムや岡山における水害の歴史を踏まえて、今後の洪水対策を考える。

**プロフィール** 専門分野:水災害。東北大学助手、京都大学助手、秋田大学准教授を経て2010年現職へ着任。文部科学省や国土交通省、内閣府、経済産業省などの省庁および大阪府や兵庫県などの自治体の防災および環境に関する委員を多数歴任。



人はなぜ避難指示に  
従わないのか

元吉 忠寛 関西大学 社会安全学部教授

**概要** 近年、地球温暖化や都市化などの影響によって、大雨の頻度が増えていることは多くの人が実感している。しかし台風の接近や集中豪雨によって避難指示や避難勧告などの情報が出て、人々が適切な避難行動ができないことは古くから繰り返し指摘されている。人はどうして避難指示に従わないのかを人間の心理から読み解き、その対策について解説する。

**プロフィール** 専門分野:災害心理学、教育心理学、社会心理学。防災科学技術研究所特別研究員、名古屋大学院教育発達科学研究科助教などを経て、現職。被災者の支援、防災対策の促進、避難行動などに関する研究業績多数。編著書に「学校で役立つ社会心理学」(ナカニシヤ出版)など。兵庫県学校防災アドバイザー。



共催 | 関西大学  
関西大学教育後援会

お問い合わせ 関西大学入試センター  
TEL.06-6368-1121(代)

後援 | 岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、NHK岡山放送局、RSK山陽放送、OHK岡山放送、TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送、山陽新聞社、エフエム岡山 (順不同)